



報道各位

2009年11月26日
サイエンス・サポート函館

「はこだて国際科学祭 2010 キックオフ・フォーラム」 来年、2年目を迎える科学祭に向けて講演と意見交換のワークショップを開催

はこだて国際科学祭を主催するサイエンス・サポート函館(代表:美馬のゆり 公立はこだて未来大学教授)では、12月12日(土)15時より函館市中央図書館(五稜郭町26番1号)にて講演会と意見交換のワークショップのイベント「はこだて国際科学祭 2010 キックオフ・フォーラム」を開催いたします。

初めての科学祭として今年8月22日より9日間の会期で開催したはこだて国際科学祭 2009では「函館から地球の環境を考える」をテーマに科学に関連したアート作品の展覧会や専門家と語るサイエンスカフェ、サイエンスショーなどを行い、のべ8,500人の来場者がありました(詳細はwebサイトを参照)。2回目として2010年8月21-29日に予定しているはこだて国際科学祭 2010では「食」をテーマとし、継続的な運営体制構築に向け、地域への更なる浸透を目指します。本フォーラムはそのスタートとして地域の方々に広く活動を紹介するとともに、協働に向けた意見交換のワークショップを行います。

本フォーラム前半の講演会では、サイエンス・サポート函館代表の美馬のゆり(公立はこだて未来大学教授)、同アートディレクターで旧上磯町出身の建築家、高田傑(東京藝術大学助教)らが、これまでの活動と今後の展望についてお話しします。

後半のワークショップでは、はこだて国際科学祭 2010に向けて、どんなプログラムを、どんな場所で、どんな人たちと一緒に作りあげていくことができるのか、来場者全員参加のワールドカフェという手法を用いて意見交換を行います。ワークショップにはサイエンス・サポート函館のアドバイザーで、雑誌「科学」の元編集長の三宅丈夫氏(株式会社学研教育出版デジタルコンテンツ事業室)が特別ゲストとして参加します。また、サイエンス・サポート函館実行委員からは、講演会演者の他、渡辺儀輝(市立函館高等学校教諭)、本村真治(函館工業高等専門学校准教授)等が参加し、渡辺保史(北海道大学科学技術コミュニケーション養成ユニット特任准教授)が進行を担当します。

「はこだて国際科学祭 2010 キックオフ・フォーラム」

日時：2009年12月12日(土) 15:00-17:00

場所：函館市中央図書館 視聴覚ホール(函館市五稜郭町26番1号)

参加費：無料 事前申し込み：不要、当日会場にお越しください

講演会「科学をまちに出してみた」 15:00-15:50

美馬のゆり(サイエンス・サポート函館代表)、

高田傑(サイエンス・サポート函館アートディレクター)ほか

意見交換のワークショップ(ワールドカフェ形式) 16:00-17:00

進行：渡辺保史(北海道大学科学技術コミュニケーション養成ユニット特任准教授)

参加：三宅丈夫氏(株式会社学研教育出版)、渡辺儀輝(市立函館高等学校教諭)、

本村真治(函館工業高等専門学校准教授)ほか

イベントの問い合わせおよび本ニュースリリースに関わる連絡先：

金森 晶作(かなもり しょうさく；サイエンス・サポート函館コーディネーター、公立はこだて未来大学特別研究員)

公立はこだて未来大学内サイエンス・サポート函館事務局(函館市亀田中野町116番地2)

電話 0138-34-6527 e-mail : kanamori@fun.ac.jp web : <http://www.sciencefestival.jp/>

以上